

### 播磨町のこの人



ふじおか かずとし  
藤岡 計寿さん  
(二子)

趣味 カラオケとヨット  
PR 誰とでも気さくに話ができる特技があります。気軽に声をかけてください。



「播磨町のこの人」にあなとも、思いを綴ってみませんか？ 800字以内のお手紙と写真を1枚添えて、昼間に連絡のつく連絡先を記入の上、企画グループまで送ってください。

## よく学びよく育つ

指導員 横田 一



が人間の育成にもつながっているということ。磨く・練磨という言葉には、硬質の厳しさがありません。

「玉を磨く」つまり磨いて立派な人間にするためには、どうしても親では甘さが出てしまうので、外の強い力が必要になります。最近では、外の指導も、厳しい指導ができず甘さが出てしまい、練磨までいかないことが多いようです。

「玉を磨く」というのは、縫った後の着物の形が崩れないように糸でとめるのが元々の意味で、それをよい習慣づけというたとえにしたのが「しつけ」ということのようにです。「しつけ」は仕付け糸であり、やさしさや温かみがあります。それに対して、「玉を磨く」という言葉があります。これは磨いて玉にするということ。石を磨いて玉にするのです。光らせるのです。真綿のような柔らかいもので磨いて光るわけはありません。石より固いもので研いで磨くのです。砥石などで何度も何度もすって磨き上げるところ

審査を行うなど努力を重ねた結果、銘板・プレート等製造業界では当町近隣に競争が見当たらない存在となっております。また、工法技術の習得を求めて従事する次世代の担い手への技術指導にも奔走しております。

### 播磨町技能職者表彰

平成22年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月25日、町長室で行われました。今年の受表彰者は次の方々です。



四村 重夫さん(古宮) 銘板、プレート等製造職人  
経営者として自己研鑽に余念がなく、技術的に常に磨きをかけ、厳しい製品

主に住宅の建築基礎、擁壁、外溝工事を手がけ、その正確さ、技術は抜群といわれております。独立された当初から人一倍努力し、仕事に励み、態度や服装にも気を遣うなど、誠心誠意、裏表なく勤めてきた結果、得意先からの信頼を厚く受けておられる方です。

富濱 信浩さん(西野添) 建具工、ガラス工業  
平成7年に現在の会社を始められ、以後15年以上に渡り、建具・ガラス工事やエクステリア工事に携わってこられました。豊富な知識と確かな技術を生かした仕事ぶりだけでなく、常にお客様の立場に立った考え方は、正に職人の模範であるといえる方です。

### 播磨町赤十字奉仕団に感謝状が贈られました

日本赤十字社の「支部創立120周年記念兵庫赤十字大会」が平成22年11月8日神戸市中央区の国際会議場ポートピアホールにて開催され、播磨町赤十字奉仕団がボランティア活動に顕著な功績があった団体として「社業功労者特別感謝状」の贈呈を受けました。

### 播磨町ふるさと賞が 福富茉莉奈さん(北本荘)、 梶谷達郎くん(宮北)に 贈られました

播磨町ふるさと賞は、文化、スポーツの分野でめざましい活躍をし、町民に希望と活力を与え、ふるさと播磨の名を広く知らしめた個人または団体に對し、その栄誉をたたえ贈るものです。平成8年に創設し、福富さんで14人目、梶谷くんで15人目です。

福富茉莉奈さんは、8月に開催された全国高校総合体育大会(第63回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会)の円盤投げで第2位、砲丸投げで第3位の成績を収められました。

私立園田学園高等学校3年生の福富さんは、播磨南中学校1年生のときから陸上部で短距離・ハードルの選手で活躍。3年生のとき円盤投げや砲丸投げを始め、その年に県大会で優勝し、高校入学後もインターハイに出場。

「高校の通学は早朝の電車に乗り、夜遅く帰宅する毎日、病気で苦しい時期もあったけど、仲間がいたからこそ頑張ってきた」とお話しされました。受賞について「このように嬉しい賞をいただき、すごく嬉し



▲福富茉莉奈さん



▲梶谷達郎くん

大学に進学予定なので、日本インターカレッジ優勝を目指して頑張りたい」と、意欲的に語ってくれました。町長からは、記念の盾と共に「夢を持つて上のステージを目指して頑張ってほしい」とエールを送られました。

梶谷君は、10月に開催されたジュニアオリンピック陸上競技大会の円盤投げで優勝されました。

播磨南中学校3年生の梶谷君は、陸上部で顧問の奥野先生に素質を見いだされ、1年生の夏休みから円盤投げや砲丸投げを始めました。

「近畿大会では、2位だったので、優勝できてすごく嬉しい。将来は体育の先生をめざして頑張りたい」と、心境を語ってくれました。町長からは、「上をめざして頑張ってください」と記念の盾が贈られました。